



みなみおか

第9号
2022. 10. 7
発行



もうすぐ運動会!



10月に入りようやく涼しくなってきました。9月末より運動会の練習が本格的に始まりました。暑い時期の練習は、子どもたちにとってはたいへんだったと思います。運動会が終わるまでは、良い天気が続き練習が滞りなく行われることを期待しています。そして運動会当日には、



みんなの力を結集し、大きな怪我なく頑張ってもらいたいと思います。運動が得意でも苦手でも全力を発揮し、子どもたちの笑顔があふれる楽しい運動会になるように願っています。

秋の校外学習も始まります



秋の校外学習では、バスを活用する学年が多く、様々なことを校外で学習する予定になっています。学ぶ内容は違っていても学年全体で行動することによって変わりはありません。校外学習では、お家の方と行く時と違い団体行動になります。自由な行動はできません。約束を守り、たくさん学んで帰ってきてほしいです。



人権教育の推進

本校は、今年度の「人権・道徳教育部」推進計画の重点目標として「自分が好き 友だちが好き みんなちがってみんないい」～自分も友だちも大切に、互いに思いやり、協力し合える子どもを育てる～をテーマに研究を進めています。重点目標設定の理由は、全国的な動向や学校が児童に行っている「元気調査」から、以下の課題があると考え設定しました。

- ・自分に自信が持てず、自己肯定感が低い
 - ・友だちに心ない言葉をかけてしまう
 - ・周りの反応を気にしすぎて、友だちとの関係を上手く持てない
- などの課題を踏まえ、一人ひとりが自己肯定感を高め、相手の気持ちを想像する力を育み、互いに認め合うことができるよう取り組みを進めています。

子どもたちは一人の人間として、それぞれ個性があります。我々も個性や特性があります。子どもも大人も同じです。周りの人と感じ方や思いなども当然違うこともあ

るでしょう。その中でもそれぞれの個性を生かし、互いに認め合い、個性を大切に、みんながつながり合える集団づくりをめざして取り組みを進めています。特に、豊中市はインクルーシブ教育、「共に学び共に育つ」を大切にしています。



さらに支援教育を充実させるためにも、教職員も研修等を行い、今後を見据えた支援教育を学んでいます。また、子どもたちも自分と違うものを排除するのではなく、ともに学ぶことを考えてほしいと思います。他の考え方を排除しようとするようすは、他の学校にもあるかもしれません。しかし本来は、違いを認め、互いを尊重する気持ちが大切なはずで、人は十人十色です。考えや思いも違います。しかし、人として大切にしなければならないのは、すべての人は法の下に平等だという事に繋がります。人によって得意不得意、または、できる、できないはあります。それぞれの友だちの課題や自分の課題も認め尊重できるようになってほしいです。

本校でも、友だちのことを心ない言葉で傷つけることがあります。何故、友だちのことをそのように傷つけてしまったのか、みんなで考えることが大切です。学校にはいろいろな友だちがいるからこそ、学びが深まります。すべての児童が同じ学力、同じ思いであったとしたら、学校生活はとても単調なものになるでしょう。意見をたたかわせたり、間違ったりすることで、正しい答えを見つけたときの喜びは大きくなります。学校を好きだといってくれる友だちも、また登校しにくい友だちも、みんなで温かく応援協力できる集団をめざして引き続き取り組んでいきます。

児童朝会



児童朝会があり、ペア学年(例:1年生と6年生)で「絵合わせ宝探し」をしました。1枚見つけると1ポイント、絵が完成すると10ポイントなどのポイントがもらえます。また、星印がついている絵には、ボーナスポイントがつかます。運動場に全学年の児童が集まり、一緒に遊ぶのは久しぶりです。ペアがいなくなり戸惑う児童もいましたが、楽しそうに行動していました。通常の日々が少しずつ戻ってきていることに嬉しさを感じました。



最後は、代表委員が必要ない絵を集めてくれました。



宝の絵を合わせるとこのようになります